

令和元年度「第2次青森県子ども・若者育成支援推進計画」関連事業一覧

【基本目標Ⅰ】 子ども・若者のたくましく健やかな成長に向けた支援

重点目標1 基礎的能力である「知・徳・体」を育成します

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目				重点枠事業	新規継続	H30予算額(千円)	R元予算額(千円)	平成30年度の実績状況	令和元年度の主な事業内容
				1	2	3	4						
1	企画政策部	地域活力振興課	「夢のカタチ」形成事業 【重点目標2に再掲】	1	2			継続	4,385	4,410	・高校生が明確な職業意識を持つきっかけとするため、県内の先輩社会人を講師とする「先輩から後輩への夢相伝講座」を県内の高等学校7校で開催した。(参加高校生1,221名) ・中学生を対象に、発想力と創造力を磨くサマーセミナー「未来ひらめき創造塾」を開催し、21名が参加した。 ・「日本の次世代リーダー養成塾」に本県の高校生10名を派遣した。	・引き続き、「先輩から後輩への夢相伝講座」を県内の高等学校(5校程度)で開催する。 ・中学生を対象に、発想力と創造力を磨くサマーセミナー「未来ひらめき創造塾」を開催する。 ・「日本の次世代リーダー養成塾」への本県高校生の派遣(10名程度)を継続する。	
2	企画政策部	統計分析課	統計理解で次代を担う世代育成事業	1				継続	1,313	1,318	統計の重要性を理解するとともに、統計の基礎的能力を身につけた人材を育成するため、児童生徒等を対象とし、統計グラフコンクールやその統計指導者向けセミナーなどを開催した。	児童生徒等を対象とし、統計グラフコンクールやその統計指導者向けセミナーなどを開催することにより、統計の重要性を理解するとともに、統計の基礎的能力を身につけた人材を育成する。	
3	環境生活部	青少年・男女共同参画課	青少年行政基礎調査事業 【重点目標2に再掲】	1	2			継続	1,120	322	県内の小学生・中学生・高校生1,274名を対象に、青少年の意識や行動の現状等を調査し、報告書(「青少年の意識に関する調査」)を作成(800部)・配付した。	本県の青少年の現状と課題を明らかにするとともに、関係行政機関における青少年に関する諸施策を取りまとめ、次代を担う青少年の健全育成に資するため、青森県子ども・若者白書を作成・配付する。	
4	環境生活部	青少年・男女共同参画課	命を大切にすることを育む県民運動推進会議・フォーラム開催事業	1				継続	2,514	2,352	県民運動への理解と関心を高めるため、推進フォーラムの開催(参加者500名)及び情報誌の作成(11,000部)・配付等を行った。	推進フォーラムの開催及び情報誌の作成・配付等を引き続き行う。	
5	環境生活部	青少年・男女共同参画課	地域の見守りで輝く笑顔推進事業 【重点目標4、11、12に再掲】	1	4	11	12	継続	5,783	4,010	学校・家庭・地域が一丸となっていじめ防止に取り組む気運を高めるとともに、地域全体で子どもを見守る環境づくりの促進と、子どもたちの孤立感の解消や明るく前向きに未来へ進んでいく気持ちを醸成するため、県内各学校において、一斉声かけ活動及び他人を思いやり命を大切にすることを育む対話集会(参加者約1,160人)を実施した。また、未来応援メッセージソング・動画をイベントなどで活用したり、県内全小中高等学校及び特別支援学校の新入生へ相談先ステッカーを配付するなどして、普及啓発を実施した。	学校・家庭・地域が一丸となっていじめ防止に取り組む気運を高めるとともに、地域全体で子どもを見守る環境づくりの促進と、子どもたちの孤立感の解消や明るく前向きに未来へ進んでいく気持ちを醸成するため、県内一斉声かけ活動や他人を思いやり命を大切にすることを育む対話集会の実施、各種媒体を活用した普及啓発等を実施する。	
6	健康福祉部	がん・生活習慣病対策課	親子のむし歯予防と無煙世代育成事業	1				重点枠事業 終了	2,542	-	幼児のむし歯保有率の改善のため、フッ化物の定期的な利用によるむし歯予防対策と産後の再喫煙率減少のため、「禁煙見守りカード」を活用した禁煙支援の仕組みづくりを行った。	-	
7	農林水産部	食の安全・安心推進課	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業	1				継続	4,435	5,946	第3次青森県食育推進計画の目標達成のため、各県民局ごとに地域食育ネットワーク協議会を運営(6回)したほか、青森県食育指導者研修会の開催(1回)や「あもり食育検定」運営業務の支援、あもり食育サポーターの登録・活動支援を行った。	引き続き、第3次青森県食育推進計画の目標達成に向けて、地域食育ネットワーク協議会の運営、青森県食育指導者研修会の開催、「あもり食育検定」運営業務の支援、あもり食育サポーターの登録・活動支援等を行う。	

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目			重点枠事業	新規継続	H30予算額 (千円)	R元予算額 (千円)	平成30年度の取組状況	令和元年度の主な事業内容
8	農林水産部	食の安全・安心推進課	県民の食育実践向上事業	1			重点枠事業	終了	8,342	-	<p>県民の食育実践の向上を図るため、ライフステージに対応した食育活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児を対象とした食農体験会の実施（14回）</li> <li>・和食の良さを啓発するため、小・中学生を対象に「おむすびづくり体験」を実施（14校）</li> <li>・若者の健全な食生活を促すため、大学生を対象に基本的な調理方法を学ぶ「自炊塾」を実施。（7回）</li> </ul>	-
9	農林水産部	食の安全・安心推進課	みんながつながる食育推進事業	1			重点枠事業	新規	-	10,672	-	<p>第3次青森県食育推進計画の目標である「健康で活力に満ちた暮らし」と「青森県型地域共生社会」の実現に向けて、県民のライフステージに応じた食育活動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業高校生を講師とする園児対象の食農体験会の開催</li> <li>・あおり食命人による児童対象の調理実習の開催</li> <li>・高校、大学生を対象とした自炊塾の開催</li> <li>・大学生のアイデアによる食育啓発冊子の作成</li> <li>・共食の機会提供に向けた「みんなの食堂」運営モデルの実証</li> </ul>
10	農林水産部	りんご果樹課	健康果実・青森りんごファンづくり強化事業	1			重点枠事業	継続	9,425	4,215	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内食育関係者等を対象とした育成研修を通じ、「青森りんごで健康応援隊」として登録し、出前授業等の講師としてりんご食育活動を行った。</li> <li>・知事による親子対象のアップルスクールを県外3地区で開催するとともに、県内外小学校等で「青森りんご出前授業」を開催した。</li> <li>・りんごの栄養・機能性や青森りんごの知識を深める「青森りんご啓発イベント」を開催した。</li> <li>・児童版「青森りんご」冊子の作成・配布するとともに、「青森りんご啓発DVD」を新たに作成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内食育関係者等を対象とした育成研修を通じ、「青森りんごで健康応援隊」として登録し、出前授業等の講師として、りんご食育活動を行う。</li> <li>・知事による親子対象のアップルスクールを県外で開催するとともに、応援隊等による県内外での「青森りんご出前授業」を開催する。</li> <li>・りんごの栄養・機能性や青森りんごの知識を深める「青森りんご啓発イベント」を開催する。</li> <li>・「青森りんご啓発DVD」を積極的に活用するとともに、児童版「青森りんご」冊子を作成・配布する。</li> </ul>
11	県土整備部	都市計画課	景観学習教室	1				継続	676	676	<p>県内小学校の第3学年から第6学年を対象として、当該年度は実施希望がなかったため、実施していないが、黒石市主催の景観学習教室へ景観アドバイザーを派遣した。</p>	<p>県内小学校の第3学年から第6学年を対象として、景観の専門家等の講師を派遣し、授業を行うことで、児童の景観に関する関心と良好な景観形成への意識を育む。</p>
12	教育庁	学校教育課	学習状況調査	1				継続	4,087	4,235	<p>県内公立小・中学校の児童生徒を対象に、全県的な規模で学習状況の調査及び調査結果の分析を行い、本県児童生徒の学習指導上の課題を明らかにするとともに、より学校で活用できるような指導事例を掲載し、学習指導の改善に向けた報告書を作成した。</p>	<p>県内公立小・中学校の児童生徒を対象に、全県的な規模で学習状況の調査及び調査結果の分析を行い、本県児童生徒の学習指導上の課題を明らかにするとともに、より学校で活用できるような指導事例を掲載し、学習指導の改善に向けた報告書を作成する。</p>
13	教育庁	学校教育課	進学力を高める高校支援事業	1				継続	6,346	6,377	<p>前年度に引き続き、大学等進学率向上のため、各学校における生徒の進学力向上、教員の指導力向上、保護者の意識啓発を図る事業を支援した。また、進学力向上を後押しする校内研修体制の改善を支援した。</p>	<p>大学等進学を目指す生徒の志望達成に向け、各学校における生徒の教科学力を中心とした進学力向上、教員の教科指導力向上、保護者の意識啓発を図る事業を支援する。また、教員の指導力向上の礎となる校内研修体制の改善を支援する。</p>
14	教育庁	学校教育課	新しい時代を主体的に切り拓く小・中学生育成支援事業	1			重点枠事業	終了	16,329	-	<p>小・中学校における主体的・対話的で深い学びの視点に基づく授業改善や新学習指導要領に応じた授業づくりのため、研究指定校による実践研究の実施、公開授業を含むフォーラムの開催、将来中核となる教員を対象とした研修の実施及び学力向上支援資料の作成や事業報告の発行などにより、成果の還元を図った。</p>	-

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目			重点枠事業	新規継続	H30予算額 (千円)	R元予算額 (千円)	平成30年度の取組状況	令和元年度の主な事業内容
15	教育庁	学校教育課	学びの質を高める事業改善プロジェクト事業費	1			重点枠事業	新規	—	7,158	—	小・中学校において新学習指導要領に対応した授業改善を図るため、推進リーダーによる主体的・対話的で深い学びの実現のための「授業スタンダードハンドブック」の作成や、学校図書館等活用推進に向けた授業実践に取り組むとともに、公開授業を含むフォーラムの開催等により研究成果の還元を図る。
16	教育庁	教職員課	あおもりっ子育みプラン21	1				継続	584,633	664,890	個に応じたきめ細かな学習指導や生活指導を行うため、小学校1～4年生及び中学校1年生を対象に1学級33人の少人数学級編制などを実施した結果、ゆとりを持った個別指導、いじめなどの未然防止や早期発見・指導が可能となり、指導の充実が図られた。	小学校1～4年生及び中学校1年生を対象に1学級33人の少人数学級編制などを実施し、これに要する教職員の増配置を行う。
17	教育庁	スポーツ健康課	いきいき青森っ子健康づくり事業	1				継続	2,577	2,264	健康教育実践研究校9校による中間発表を実施し、本県における健康教育のあり方、進め方を協議するとともに引き続き健康課題解決のための具体的な指導内容、指導方法について研究した。また、年度末には、取組の成果として報告書を作成し、県内小・中・高等学校等へ配布する。また、児童生徒の個々の健康管理及び給食管理の指導について、実践的な充実を図る研修会を実施した。	健康教育実践研究校を12校指定し、本県における健康教育のあり方、進め方を協議するとともに健康課題解決のための具体的な指導内容、指導方法について研究する。
18	教育庁	スポーツ健康課	栄養教諭・学校栄養職員研修事業（新規採用研修・経験者研修、中堅教職員指導実践力向上研修）	1				継続	243	808	経験年数に応じて研修会を開催し、栄養教諭・学校栄養職員としての資質向上を図った。	経験年数に応じて研修会を開催し、栄養教諭・学校栄養職員としての資質向上を図る。
19	教育庁	スポーツ健康課	学校安全教室指導者研修会	1				継続	1,046	294	各学校において、実践的な安全教育・安全管理等を推進することができるよう、教職員等を対象とした研修会を開催した。	各学校において、実践的な安全教育・安全管理等を推進することができるよう、教職員等を対象とした研修会を開催する。
20	教育庁	スポーツ健康課	学校保健総合支援事業（課題解決支援事業及び性に関する教育普及推進事業）	1				継続	1,143	550	児童生徒の健康課題解決のための研修会等を実施するとともに、学校における適切な性に関する教育の実践のための取組を支援した。また、各学校において、実践的な薬物乱用防止教育を推進することができるよう、教職員等を対象とした研修会を開催した。	児童生徒の健康課題解決のための研修会等を実施するとともに、学校における適切な性に関する教育の実践のための取組を支援する。
21	教育庁	スポーツ健康課	薬物乱用防止教室推進事業	1				継続	134	271	各学校において、実践的な薬物乱用防止教育を推進することができるよう、教職員等を対象とした研修会を開催した。	各学校において、実践的な薬物乱用防止教育を推進することができるよう、教職員等を対象とした研修会を開催する。
22	教育庁	スポーツ健康課	性に関するセミナー	1				継続	350	531	研修会を開催し、性に関する教育を担当する指導者の資質向上を図った。	研修会を開催し、性に関する教育を担当する指導者の資質向上を図る。
23	教育庁	スポーツ健康課	体力向上推進事業	1				継続	1,140	1,236	本県児童生徒の体力を向上させるとともに、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現に資することができるよう、児童生徒が自ら進んで運動できる環境づくりを支援するため、教員の実践的な指導法の研修会等を実施した。平成27年度は、高等学校保健体育科担当者研修のみであったが、28年度からは、中学校保健体育担当者研修会も実施した。	本県児童生徒の体力を向上させるとともに、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現に資することができるよう、生徒が自ら進んで運動できる環境づくりを支援するため、中学校及び高等学校保健体育科担当者教員の実践的な指導法の研修会等を実施する。

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目				重点 枠 事業	新規 継続	H30予算額 (千円)	R元予算額 (千円)	平成30年度の実績状況	令和元年度の主な事業内容
24	教育庁	スポーツ健康課	交通安全プロモーション事業	1					継続	107	115	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教育の指導体制づくり（高校生の交通安全教育の啓発を図るため、交通安全教材を配布し、指導体制づくりを強化した）</li> <li>交通安全推進指定校の指定（児童生徒等の交通安全行動の定着化を図るため、学校を中心とする地域全体の交通安全意識啓発を行った）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教育の指導体制づくり（高校生の交通安全教育の啓発を図るため、交通安全教材を配布し、指導体制づくりの強化）</li> <li>交通安全推進指定校の指定（児童生徒等の交通安全行動の定着化を図るため、学校を中心とする地域全体の交通安全意識啓発）</li> </ul>

令和元年度「第2次青森県子ども・若者育成支援推進計画」関連事業一覧

【基本目標Ⅰ】 子ども・若者のたくましく健やかな成長に向けた支援

重点目標2 社会的・職業的自立に必要な能力を育成します

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目			重点枠事業	新規継続	H30予算額(千円)	R元予算額(千円)	平成30年度の取組状況	令和元年度の主な事業内容
1	総務部	総務学事課	職業・ボランティア・文化等の体験活動の推進事業(特色教育支援経費補助)	2					4,200	4,500	キャリア・職業教育の推進のため、資格取得の支援や多様な職業体験に要する経費について、11法人14校に対して補助金を交付した。	キャリア・職業教育の推進のため、資格取得の支援や多様な職業体験に要する経費に対し、補助金を交付する。
2	企画政策部	地域活力振興課	「夢のカタチ」形成事業 【重点目標1に再掲】	1	2				4,385	4,410	・高校生が明確な職業意識を持つきっかけとするため、県内の先輩社会人を講師とする「先輩から後輩への夢相伝講座」を県内の高等学校7校で開催した。(参加高校生1,221名) ・中学生を対象に、発想力と創造力を磨くサマーセミナー「未来ひらめき創造塾」を開催し、21名が参加した。 ・「日本の次世代リーダー養成塾」に本県の高校生10名を派遣した。	・引き続き、「先輩から後輩への夢相伝講座」を県内の高等学校(5校程度)で開催する。 ・中学生を対象に、発想力と創造力を磨くサマーセミナー「未来ひらめき創造塾」を開催する。 ・「日本の次世代リーダー養成塾」への本県高校生の派遣(10名程度)を継続する。
3	企画政策部	情報システム課	IT政策推進事業(ユビキタス出前授業～ユビキタス?君なら何する??～)	2					727	877	ユビキタスネットワーク社会への理解を深めるため、小学生を対象とした最先端のユビキタス技術を体験してもらう出前授業を開催し、48名の児童が参加した。実施回数:1回(中南管内)	小学生を対象とした最先端のユビキタス技術を体験してもらう出前授業を開催する。
4	企画政策部	情報システム課	ICT利活用促進事業(オープンデータ利活用人材育成)	2			重点枠事業	終了	1,138	-	・大学生を対象としたアプリ開発講座を開催。実施回数:8回(弘前市、八戸市) ・一般県民を対象としたワークショップを開催。実施回数:1回(青森市)	-
5	企画政策部	情報システム課	ICT利活用促進事業(中学生を対象としたITについての理解を深めてもらうための出前授業)	2			重点枠事業	終了	746	-	中学生を対象として、ITについての理解を深めてもらうことなどを目的として、県内外IT企業関係者等による出前授業を開催。 実施回数:7回(東青1校、中南2校、三八1校、上北1、西北1、下北1)	-
6	環境生活部	県民生活文化課	消費者教育事業(消費生活センター委託事業) 【重点目標13に再掲】	2	13			継続	1,264	1,267	市町村、社会福祉協議会、学校、消費者グループ等からの依頼により、講師として消費生活相談員等を派遣して消費生活に関する講座を99回実施した。(5,903名参加)	市町村、社会福祉協議会、学校、消費者グループ等からの依頼により、講師として消費生活相談員等を派遣し、消費生活に関する講座を開催する。
7	環境生活部	県民生活文化課	学校における消費者教育推進事業(消費者行政推進事業) 【重点目標13に再掲】	2	13			継続	2,301	2,812	・県内5大学と連携し、学生自身による消費者教育活動への主体的取組を支援するとともに、学生による消費生活フェスタを開催した。 ・高等学校の教員等で構成する検討委員会を計9回開催し、関係教科における実践事例等を検討・作成し、県内各高等学校へ周知した。 ・特別支援学校1校(上北地域)において、消費者教育に係るモデル事業を実施するとともに、内容について検討するための運営検討委員会を2回開催した。 ・中学校の教職員を対象に、県内2地区(東青地区、三八地区)において消費者教育研修会を開催した。	これまでのモデル校での取組の成果を踏まえ、大学においては学生自身が主体的に消費者教育の担い手となるよう活動を支援するとともに、高等学校では消費者教育関係教職員、消費生活専門家等による検討会議を開催し、カリキュラムマネジメントを踏まえた消費者教育の効果的な進め方についてまとめ、学校へ還元する。 また、新たに中学校教職員を対象に研修会を実施(西北・上北地区)するほか、引き続き特別支援学校でのモデル授業を実施する。

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目			重点 事業	新規 継続	H30予算額 (千円)	R元予算額 (千円)	平成30年度の取組状況	令和元年度の主な事業内容	
8	環境生活部	県民生活文化課	高校生ファッションチャレンジ事業	2				継続	12,551	12,551	ファッション文化の振興を通じた人材育成、産業振興及び地域活性化を図るため、第18回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会（ファッション甲子園）の開催を支援した。	ファッション文化の振興を通じた人材育成、産業振興及び地域活性化を図るため、第19回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会（ファッション甲子園）の開催を支援する。	
9	環境生活部	県民生活文化課	芸術文化出前教室開催事業	2				継続	1,088	1,099	芸術文化の鑑賞機会の充実、担い手の育成を図るため、県民文化祭に参加する15分野の芸術文化団体を学校や児童館などに派遣し、出前教室を実施した。（14か所、19回開催）	芸術文化の鑑賞機会の充実、担い手の育成を図るため、県民文化祭に参加する15分野の芸術文化団体を学校や児童館などに派遣し、出前教室を実施する。	
10	環境生活部	県民生活文化課	青森県民文化祭開催事業	2				継続	9,310	9,310	芸術文化活動の発表と鑑賞の場として、東青下北地域において青森県民文化祭を開催した。（参加者12,026名）	芸術文化活動の発表と鑑賞の場として、西北五地域において青森県民文化祭を開催する。	
11	環境生活部	県民生活文化課	ふるさとが誘う文化芸術魅力活性化事業	2			重点 事業	継続	5,572	5,859	地域の文化芸術資源の価値の再認識・継承とそれらを活かした地域づくりを推進するとともに、東京藝術大学との連携により、小・中学生を対象に、地域の文化芸術素材を活かした芸術体験プログラム（美術・音楽の2分野・参加者各約30名）を企画・実施した。	地域の文化芸術資源の価値の再認識・継承とそれらを活かした地域づくりを推進するとともに、東京藝術大学との連携により、小・中学生を対象に、地域の文化芸術素材を活かした芸術体験プログラム（美術・音楽の2分野）を企画・実施する。	
12	環境生活部	青少年・男女共同参画課	青少年行政基礎調査事業 【重点目標1に再掲】	1	2			継続	1,120	322	県内の小学生・中学生・高校生1,274名を対象に、青少年の意識や行動の現状等を調査し、報告書（「青少年の意識に関する調査」）を作成（800部）・配付した。	本県の青少年の現状と課題を明らかにするとともに、関係行政機関における青少年に関する諸施策を取りまとめ、次代を担う青少年の健全育成に資するため、青森県子ども・若者白書を作成・配付する。	
13	環境生活部	環境政策課	環境出前講座実施事業 【重点目標11に再掲】	2	11			継続	1,794	1,776	県内小学校63校で環境出前講座を109回実施し、2,761人の児童が受講した。	引き続き、小学生向け環境教育プログラムを活用し、環境教育専門員と地域のNPOとの協働により、環境出前講座を実施する。	
14	環境生活部	環境政策課	環境教育促進強化事業 【重点目標11に再掲】	2	11		重点 事業	終了	5,266	-	地域資源を活用した親子で楽しく学ぶ体験型の環境教育プランを公募し、優秀提案4事業をモデル事業として選定の上、委託により事業を実施した。 また、大学と地域のNPO等との協働による環境人材育成の仕組みづくり事業として、学生の体験型学習、アンケートの実施及びシンポジウムを開催した。 さらに、環境出前講座の一層の充実を図るため、環境出前講座のプログラム改定及び環境教育専門員レベルアップ研修会を開催した。	-	
15	環境生活部	環境政策課	あおもり環境人材育成促進事業 【重点目標11に再掲】	2	11		重点 事業	新規	-	5,183	-	環境保全活動や環境教育・学習の担い手となる若者を育成するため、大学による環境教育モデルの形成に向けた仕組みづくりに取り組むとともに、地域の環境保全活動や環境教育の拡充を図るため、環境団体・事業者などの多様な主体とのネットワークづくりを促進する。	環境保全活動や環境教育・学習の担い手となる若者を育成するため、大学による環境教育モデルの形成に向けた仕組みづくりに取り組むとともに、地域の環境保全活動や環境教育の拡充を図るため、環境団体・事業者などの多様な主体とのネットワークづくりを促進する。
16	環境生活部	環境政策課	北東北三県新環境教育教材作成配布事業 【重点目標11に再掲】	2	11			継続	759	755	平成27年度に整備した教材の時点修正等を行い、県内全小学校に配布した。	引き続き、教材の時点修正等を行い、県内全小学校に配布する。	
17	環境生活部	環境政策課	環境活動推進事業 【重点目標11に再掲】	2	11			継続	199	198	地域の子どもたちの自主的な環境活動の取組である「こどもエコクラブ」の活動支援として、環境情報等のメールマガジンを作成し送付した。また、各クラブにアンケートを行い、活動状況や実態を調査した。	引き続き、メールマガジン等によりこどもエコクラブに対する随時の情報提供を行い、活動を支援する。	

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目			重点枠事業	新規継続	H30予算額 (千円)	R元予算額 (千円)	平成30年度の取組状況	令和元年度の主な事業内容
18	健康福祉部	医療業務課	地域医療を担う人材育成事業	2					4,008	4,027	<p>早期から地域医療を志す医師の育成・確保を進めるため、中高生、医学生、研修医等の各ステージに応じた医師確保対策を展開した。</p> <p>(1) 未来のあおもりを担う医療人財早期育成事業</p> <p>① ドクタートーク</p> <p>② 医療チュートリアル体験</p> <p>③ 外科手術体験セミナー</p> <p>(2) 医学生・研修医の青森県内研修支援事業</p> <p>・へき地医療実習</p>	<p>今年度においても、早期から地域医療を志す医師の育成・確保を進めるため、中高生、医学生、研修医等の各ステージに応じた医師確保対策を展開していく。</p> <p>(1) 未来のあおもりを担う医療人財早期育成事業</p> <p>① ドクタートーク</p> <p>② 医療チュートリアル体験</p> <p>③ 外科手術体験セミナー</p> <p>(2) 医学生・研修医の青森県内研修支援事業</p> <p>・へき地医療実習</p>
19	健康福祉部	医療業務課	医師臨床研修魅力発信・研修環境支援事業	2					17,304	15,630	<p>臨床研修病院等との関係機関と協力し、臨床研修の魅力を発信し、臨床研修医の確保に取り組むとともに、研修環境の質の向上を図り、若手医師の育成・定着に取り組んだ。</p> <p>① 合同説明会</p> <p>② 臨床研修医セミナー</p> <p>③ 臨床研修医ワークショップ</p>	<p>今年度においても、臨床研修病院等との関係機関と協力し、臨床研修の魅力を発信し、臨床研修医の確保に取り組むとともに、研修環境の質の向上を図り、若手医師の育成・定着に取り組む。</p> <p>① 合同説明会</p> <p>② 臨床研修医セミナー</p> <p>③ 臨床研修医ワークショップ</p>
20	商工労働部	新産業創造課	創造する産業人財育成事業	2					5,557	5,613	<p>子どもの創造性を育成する地域団体等への活動費の一部を助成するとともに、発明クラブの地域企業との連携や指導員のスキルアップ等に対し助成した。(助成対象：12地域団体)</p> <p>また、発明くふう展と「科学の夢」絵画展を開催するとともに、企業等との連携により親子で科学を体験できる科学体験コーナーや科学工作教室などを開催した。</p> <p>(絵画展出展数：347、くふう展出展数：163、科学体験教室参加児童：123名)</p>	<p>子どもの創造性を育成する地域団体等への活動費の一部を助成するとともに、発明クラブの地域企業との連携等に対し助成する。また、発明くふう展と「科学の夢」絵画展を開催するとともに、企業等との連携により親子で科学を体験できる科学体験コーナーや科学工作教室などを開催する。</p>
21	商工労働部	労政・能力開発課	ジョブカフェあおもり推進・運営事業 【重点目標3、4に再掲】	2	3	4			89,313	90,241	<p>カウンセリングやセミナーなどによる総合的な就職支援。</p> <p>来館者：13,930人、就職者：2,631人</p>	<p>カウンセリングやセミナーなどによる総合的な就職支援。</p>
22	商工労働部	労政・能力開発課	離職者等再就職訓練事業	2					977,085	744,062	<p>民間教育機関等に委託し、60コース、受講者839名で職業訓練を実施した。平成31年3月末現在、修了者737名、就職率51.2%。</p>	<p>引き続き、民間教育機関等を活用して、委託により多様な職業訓練(委託訓練)を機動的に実施することとし、31年度は、101コース、1,513名定員で訓練を計画している。</p>
23	商工労働部	労政・能力開発課	訓練校事業	2					42,314	47,953	<p>普通課程の職業訓練を実施し、30年度生の修了者数114名、就職者数112名であった。31年度生の入校者は131名であった。</p>	<p>県立職業能力開発校において、高卒者等に対し職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得するための職業訓練を実施し、県の産業界を担う技能者育成に取り組む。</p>
24	商工労働部	労政・能力開発課	未来ものづくり人財確保・育成事業	2					1,577	1,548	<p>第13回若年者ものづくり競技大会へ4名参加した。</p> <p>また、高校生に県立職業能力開発校に対する理解を深めてもらうため、高校生対象の進学情報誌への学校紹介ページを掲載するとともに、進路ガイダンス及び会場ガイダンスにおける県立職業能力開発校のブースを確保し、高校生に直接PRする機会を設けた。</p>	<p>技術者育成段階で更に技能水準を高め、より技能レベルの高い人材を社会に供給していくため、技能競技全国大会への参加支援やものづくりへの理解促進活動により、若年者の技能向上、社会全体の技能尊重気運の醸成を図る。</p> <p>また、前年度同様、県立職業能力開発校の業務内容や役割及び魅力についての情報発信を強化するとともに、総務学事課主催の進学相談フェアに県立職業能力開発校のブースを確保し周知を図る。</p>

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目			重点枠事業	新規継続	H30予算額 (千円)	R元予算額 (千円)	平成30年度の取組状況	令和元年度の主な事業内容
25	商工労働部	労政・能力開発課	若者しごと定着魅力発信事業	2			重点枠事業	継続	16,722	16,344	①高校生等に職業ハンドブック作成し、配布した。 作成数 5,000部 ②高校生等に対する就労意識形成セミナーを開催した。 参加者数 2,115人 ③県内企業情報を新聞を通じて発信するとともに、タブロイド版を作成し、高校生や大学生等に配布した。 作成数 55,000部 ④若手社員の異業種交流会を開催し、人財育成と県内定着を図った。	若年者の県内就職及び職場定着を促進するため、職業ハンドブックの作成や就労意識形成セミナーの開催、県内マスメディア等と連携した情報発信、若手社員定着に向けた異業種交流会を開催する。
26	商工労働部	労政・能力開発課	工業高校生等県内就職促進事業	2			重点枠事業	終了	14,387	-	①県内ものづくり企業に関する情報を収集・整理し、県HP専用サイトで情報発信 掲載企業数194社 ②県内ものづくり企業の情報や魅力を、工業高校生等にPRするイベントを開催 県立工業高校6校で開催 参加生徒数延べ1,178人、参加企業数延べ159社 ③企業のPR手法や生徒に対する接し方等を個別に指導し、企業のPR力を強化 実施企業数7社 ④求人票公開前に、県内企業の求人予定を取りまとめ・新聞等で公開 新聞掲載企業数867社	-
27	商工労働部	労政・能力開発課	選ばれる県内企業魅力発信事業	2			重点枠事業	新規	-	15,570	-	高校生・大学生やその保護者等に対し、県内就職に関する情報を強かに発信するとともに、県内企業の自助努力への支援を併せて行い、生徒・学生の県内就職の促進を図る。また、職業体験を通じて、小学生の県内企業への関心を喚起し、未来の労働力の確保につなげる。
28	商工労働部	労政・能力開発課	あおもりインターンシップ・就活応援事業	2			重点枠事業	継続	26,147	27,319	【インターンシップ推進事業】 ①インターンシップマッチング会を東京、青森で開催した。 出展企業数 57社 訪問学生数 59人 ②インターンシップ受入力向上研修を実施した。 研修参加者数 77人 ③インターンシップ受入数 受入企業数 60社 984人 【就活応援事業】 ①「青森県企業ガイドブック」を作成し・配布した。 掲載企業166社 ②東京・仙台・青森の3会場で計4回合同企業説明会を開催した。 出展企業数 計152社 訪問学生数 計173人 ③学内就職セミナー等を実施した 参加者数 593人	【インターンシップ推進事業】 ①インターンシップ総合窓口を設置し、インターンシップに係る相談対応等を行う。 ②インターンシップマッチング会を県内外において開催する。 ③企業に対して、インターンシップ受入力向上研修を実施し、ハンドブックを作成する。 【就活応援事業】 ①働き方改革認証企業などが一目でわかる県内企業情報誌の作成・配付を行う。 ②新規大学等卒業予定者を対象に、県内外において合同企業説明会を開催する。 ③県内外の大学と協働で行う学内就職セミナー、相談会、保護者会等へ職員を派遣し、講演・情報提供・相談対応を行う。
29	商工労働部	労政・能力開発課	次世代技能者確保推進事業	2			重点枠事業	継続	5,038	3,911	本県経済を支えるものづくり産業への就職者が減少の一途を辿るこの喫緊の課題に対し、下記事業を実施し、ものづくりの魅力発信することで、ものづくり産業への就職機運の醸成を図るとともに、人財の掘り起し及び育成を行って若年者の県内就職及び定着を促進する。 (事業内容) ① ものづくりフェアの開催 ② 職業能力開発校オープンキャンパスの開催 ③ ものづくりの魅力発信コンテンツの作成	本県経済を支えるものづくり産業への就職者が減少の一途を辿るこの喫緊の課題に対し、下記事業を実施し、ものづくりの魅力発信することで、ものづくり産業への就職機運の醸成を図るとともに、人財の掘り起し及び育成を行って若年者の県内就職及び定着を促進する。 (事業内容) ① ものづくりフェアの開催 ② 職業能力開発校オープンキャンパスの開催

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目			重点枠事業	新規継続	H30予算額 (千円)	R元予算額 (千円)	平成30年度の取組状況	令和元年度の主な事業内容
30	農林水産部	農林水産政策課	未来へつなげる水資源保全活動推進事業	2			重点枠事業	継続	2,830	2,773	・岩木川流域における「水資源」を将来にわたって保全する活動を広げるため、NPO団体や市町村等と連携し、土地改良区等が実施する小学校を対象にした地域活動のコーディネートを行った(計12回)ほか、フォーラムの開催(平成30年12月8日、4小学校等参加)により地域活動の定着と環境保全意識の醸成を図った。	・水資源の保全に向けた地域活動を拡大するため、市町村や地域住民等が連携した地域活動の実践を促すとともに、フォーラムや研修会等の開催などにより県民の機運を醸成する。
31	農林水産部	農林水産政策課	女性起業育成・フォローアップ事業	2				継続	3,680	3,207	・本格的な起業を目指す農山漁村女性に対して、女性起業セミナー開催(12回)や新商品お披露目会への出展(2件)を支援した。また、個別課題の解消に向けた指導・助言(26件)により、事業拡大を目指す女性起業をフォローアップした。	・本格的な起業を目指す農山漁村女性に対して、新商品開発や機器整備、高齢者への配食支援などの地域貢献活動に対して支援する他、事業拡大を目指す女性起業のフォローアップなどにより、地域の活性化を図る。
32	農林水産部	農林水産政策課	女性農業者の活躍応援事業	2			重点枠事業	終了	4,230	-	・意識啓発のための地域貢献活動啓発セミナーの開催(6回)や、地域貢献プロジェクト活動(10件)の支援、プロジェクト活動発表会の開催(平成31年1月15日)により、女性の活躍による地域コミュニティの強化と農山漁村の活性化を図った。 ・若手女性農業者の交流会(県全域2回、地域14回)を開催し、仲間づくりを進めた。	-
33	農林水産部	農林水産政策課	農業女子確保育成事業	2			重点枠事業	継続	4,047	2,774	・女性新規就農向け情報誌や経営者向けの就労環境向上のためのリーフレットを作成した他、女性農業者を対象とした、女性農業者が資格取得により活躍している事例研修(1回)や農業機械の試乗等の研修会(2回)、農業技術等の研修会(6回)を託児所を設けて開催し、女性が就農しやすい環境づくりとスキルアップ支援を行った。	・若手女性農業者の人財を確保・育成していくため、女性の就農しやすい環境づくりと、女性農業者のスキルアップ支援を行う。
34	農林水産部	農林水産政策課 (上北地域県民局地域農林水産部)	かみきた女性らく楽農作業サポート事業	2			重点枠事業	終了	2,624	-	・農作業の軽労化に向けて、軽労化の優良事例を調査し事例集を発行したほか、補助作業着の検証と作業改善のための現地コンサルティング(2回)、働き方改革セミナー(3回)を実施し、快適で効率的な農作業環境づくりを図った。 ・若手農業サポーターの確保のため、農業サポートモデル実証(4回)とセミナーを開催し、サポーターを79人確保した。 ・中央学院大学生による援農サークルが結成された他、JAが労働力補完体制に取り組んだ。	-
35	農林水産部	構造政策課	農業次世代人材投資事業(準備型・経営開始型) (旧事業名:青年就農給付金事業)	2				継続	968,890	909,587	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的に、就農前の研修期間(最長2年間)を対象とした準備型では41人、就農直後(最長5年間)を対象とした経営開始型では577人に対して、1人当たり最大150万円/年の資金を交付した。	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的に、就農前の研修期間(2年以内)及び経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保するための資金(最大150万円/年)を交付する。

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目			重点枠事業	新規継続	H30予算額 (千円)	R元予算額 (千円)	平成30年度の取組状況	令和元年度の主な事業内容
36	農林水産部	構造政策課	フレッシュファーマーズ育成定着支援事業 【重点目標12に再掲】	2	12			3,033	3,296	新規就農者や青年農業者を対象とした専門研修や集合研修により、資質向上を図った。 ○青森県青年農業者会議：1回 ○青森県農業青年交流大会：1回 農村青少年クラブの活動支援及びリーダー育成活動を実施した。 ○リーダー研修会：1回	新規就農者や青年農業者を対象とした専門研修や集合研修により、資質向上を支援する。 農村青少年クラブの活動支援及びリーダー育成活動を実施する。	
37	農林水産部	構造政策課	農ある未来応援事業	2				3,047	2,572	新規就農ガイドブック(1,750部)を作成・配付したほか、新規就農相談により青年等就農計画の作成支援等の就農支援を実施した。	新規就農ガイドブックの作成、配布やHPによる新規就農支援のPR活動を実施する。 関係機関と連携した新規就農相談及び各種就農支援を実施する。 新規就農者が作成する「青年等就農計画」の作成を支援する。	
38	農林水産部	構造政策課	次代を担うあおもり農業人財スカウト事業	2			重点枠事業	3,450	2,860	高校等に向けた積極的な広報活動や研修会、出前講座の開催等により、高校生等の就農促進を図った。 ○営大PR動画を4種類作成し、YouTubeへ投稿 ○営大PRポスターを作成し、青い森鉄道車両広告へ掲示(年2回・各30日) ○営大オープンキャンパス及び周辺農家を巡るバスツアーを実施(102名) ○農業まるごと出前講座を7回(531名)開催	高校等の新規学卒者の就農促進のため、動画やポスターを活用した営農大学の魅力発信や、営農大学オープンキャンパス及び周辺の先進農家を巡るバスツアーの開催、本県農業の魅力をPRする「農業まるごと出前講座」を実施する。	
39	県土整備部	監理課	建設業の未来を担う人づくり推進事業	2			重点枠事業	6,245	6,152	①小中学生を対象とした土木技術公開講座の開催1回 ②高校生を対象とした若手技術者との意見交換会2回 ③小中学生を対象とした夏休み親子バスツアーの開催2回 ④建設業イメージアップ動画を制作し、高校1・2年生をメインターゲットに建設業のイメージアップを図る。	①小中学生を対象とした土木技術公開講座の開催1回 ②高校生を対象とした若手技術者との意見交換会4回 ③小中学生を対象とした夏休み親子バスツアーの開催2回 ④建設業イメージアップ動画をTVCM及び動画投稿サイト等で発信し、高校1・2年生をメインターゲットに建設業のイメージアップを図る。	
40	教育庁	学校教育課	特別支援学校就職促進事業 【重点目標5に再掲】	2	5			1,138	-	産業現場等における実習を通して、生徒の就労意欲を育むとともに、事業所側の雇用に対する意識を高めるため、実習を希望する生徒の賠償責任保険料及び職場開拓や巡回指導などに係る教員の旅費を助成した。	-	
41	教育庁	学校教育課	県立学校就職促進関連事業	2				-	1,217	-	高校生の就職促進に向け、経済団体、保護者、行政及び教育関係者による高等学校就職促進連絡会議を開催するとともに、特別支援学校生徒の就労意欲を育み、事業所側の雇用に対する意識を高めるため、産業現場等における実習を希望する生徒の賠償責任保険料及び職場開拓や巡回指導などに係る教員の旅費を助成する。	
42	教育庁	学校教育課	高校生の就職総合支援プロジェクト事業	2				33,110	32,842	就職状況については、好調の兆しは見えるものの、就職内定率は依然として全国平均を下回る状況にあることから、事業を前年度から継続して実施した。また、企画政策部、商工労働部との連携を強化し、高校生の県内就職を支援した。	就職状況については、好調の兆しは見えるものの、就職内定率は依然として全国平均を下回る状況にあることから、引き続き職業人としての必要な能力や態度の育成、就職時における付加価値を高めるための取組などの事業を実施し、就職内定率の向上を目指す。また、企画政策部、商工労働部との連携を強化し、高校生の県内就職を支援する。	

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目			重点枠事業	新規継続	H30予算額 (千円)	R元予算額 (千円)	平成30年度の取組状況	令和元年度の主な事業内容
43	教育庁	学校教育課	医師を志す高校生支援事業	2					22,161	22,179	医学部医学科を志す高校生の実力養成を図るとともに、教員の教科指導力の向上させることにより本県高校生の医学部医学科合格者数増加に向けた取り組みを支援した。また、拠点校を中心とした学習セミナーにおいては、医師への志を確実なものとし、学習に向かう姿勢を期して、ワークショップを実施した。	引き続き、医学部医学科を志す高校生の実力養成を図るとともに、教員の教科指導力の向上させることを通して本県高校生の医学部医学科合格者の増加を図っていく。また、拠点校を中心とした学習セミナーにおいては、医師への志を揺るぎないものとし、学習に向かう姿勢の質的向上を図るために、ワークショップを実施する。
44	教育庁	生涯学習課 (総合社会教育センター)	高校生スキルアッププログラム推進事業	2					217	200	高校生の知識や経験の幅を広げ、様々なスキルの向上を図るため、16校2,728名を対象として学校外における学習への取組を促進し、46名に対し認定証を交付した。	高校生の知識や経験の幅を広げ、様々なスキルの向上を図るため、より多くの高校生が学校外学習に参加できるように、各高校の教職員及び生徒に対し、本事業を活用することによる高い教育効果を認知してもらうとともに、県内の学校外学習情報の提供を行う。
45	教育庁	生涯学習課 (総合社会教育センター)	大学生とカタル！キャリアサポート形成事業  【重点目標12に再掲】	2	12				1,013	1,016	中学生及び高校生が自らの夢に向かって主体的に行動できるように、コミュニケーション、コーチング等の研修を修了した大学生からの働きかけにより、中・高校生のやる気や意欲を引き出し、チャレンジする心を育むためのワークショップを、高校21校(2,640名)、中学校1校(144名)に対し実施した。	中学生及び高校生の意欲を引き出し、自分自身の見つけ直しにつながる大学生によるワークショップを高校22校3,000人、中学校2校200人を対象に行うとともに、大学生を対象とした研修会を行い、大学生のスキルアップを図る。
46	教育庁	生涯学習課	子どもの読書活動推進事業	2					2,276	2,296	中・高校生の読書意欲の向上に向けて、中・高校生を対象としてお薦めの本の紹介文を募集する「大切なあなたへ薦める青春の一冊」コンクールを開催し、計4,165点の応募があった。優秀作品については冊子、ホームページ等で公開し、公立図書館や書店に『大切なあなたへ薦める青春の一冊』コーナーを設置してもらうことで、中・高校生が本に親しむきっかけとなるようにした。また、「子どもの読書活動推進大会」を八戸市で開催し、112名の参加があった。 乳幼児から小学生までの読書活動の推進のために啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」(第6版)を印刷し、研修会やブックスタート等での活用を促進した。	中・高校生の「不読率」が高くなっている課題に対応するため、引き続き、中・高校生の自主的な読書活動推進に重点を置いた取組として「大切なあなたへ薦める青春の一冊」コンクールを開催するとともに、中・高校生の読書推進に係る関係者への普及・啓発の取組として「子どもの読書活動推進大会」を県内で開催する。
47	教育庁	生涯学習課	青少年教育施設主催事業 【※人件費を含む】	2					197,892	199,956	少年自然の家において、各種主催事業(延べ参加者数4,874人)及び活動支援事業等(延べ参加者数17,129人)を実施し、自然を体験する場の提供や体験活動の拡充を行った。	自然について学び、自然に親しむ態度や豊かな心を育むために、受入事業、各種主催事業等の充実を図り、多様な体験活動機会を提供する。